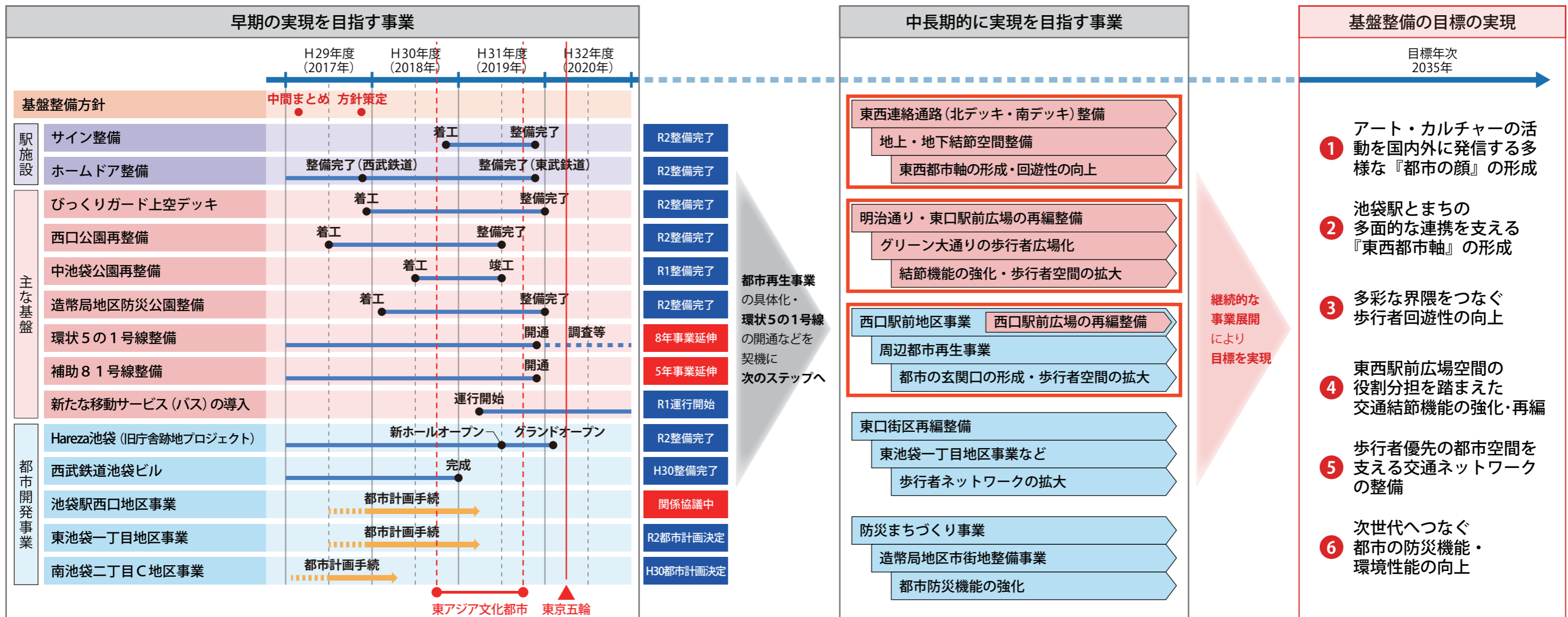


# 池袋駅周辺地域整備の進捗状況



※本スケジュールは現段階での想定であり、今後の関係協議等により変更になる可能性があります。

## 池袋駅東口駅前広場の整備に向けた今後の検討スケジュール(案)

項目	年度	2021年度(R3)	～	2027年度(R9)
関係機関協議等	地元との合意形成に向けた社会実験	計画立案	実施計画・協議	社会実験
	東京都協議、警察協議			最終確認協議
	地元協議	実験実施に向けた協議・調整	実施協議	クルドサック化に向けた協議
	バス(路線バス・高速バス・IKEBUS)、タクシー事業者協議			
基盤整備	環状5の1号線	工事		
	クルドサック化工事 グリーン大通り広場化工事	計画	設計	工事
周辺開発	池袋駅東口地区	まちづくり検討		
	池袋駅西口地区	都市計画手続き		

※記載内容は今後の関係者協議や検討により、変更となる可能性があります。







## 4. 基盤整備の目標

「池袋駅周辺地域まちづくりガイドライン」(平成28(2016)年7月)に示す“まちづくりの5つの戦略”を推進するために必要となる“都市基盤整備の6つの目標”を示す。

“6つの目標”は、現状の課題のみの解決を目指すものではなく、池袋駅周辺地域の特徴を最大限に生かして「池袋駅周辺地域まちづくりガイドライン」に示す将来像の実現に向けたまちづくりを実施する際に、今後対応していくべき方向性として整理する。

### 1 アート・カルチャーの活動を国内外に発信する多様な『都市の顔』の形成 戦略1・2

**課題** [池袋駅] ● 駅とまちをつなぐ駅コアとしてのシンボル性の不足 ● 利便性・防災性の向上  
[まちなか] ● 交流・創造・発信機能(空間)の強化 ● 公民のオープンスペースの活用・連携

- 方向性**
- 駅関連施設の更新や周辺都市開発を契機として、地域全体の快適性と防災性を高め、地域の核となる駅コアにふさわしいターミナル拠点形成
  - 池袋駅前広場と周辺建物との連携により、歩行者空間や滞留空間を創出し、池袋駅周辺地域を“東京の中で際立つ個性をシンボリックに表現する都市空間”として形成
  - 公民の様々な空間を活用し、多様な地区の特性に併せて、“アート・カルチャーの活動や発信を支える地域拠点(アート・カルチャー・ハブ)”を創出
  - コア・ゾーンでは、街区再編や大街区化を活用し、新たな都市機能や多様なオープンスペースを創出

### 2 池袋駅とまちの多面的な連携を支える『東西都市軸』の形成 戦略2・3

**課題** ● 鉄道、道路等の交通インフラによるまちの分断 ● 東西都市機能の連携強化

- 方向性**
- 駅とまちとの重層的な接続空間(駅まち結節空間)の整備により、駅とまち、駅の東西を明快につなぎ“多様な流動を支える都市の骨格”を形成
  - アート・カルチャー活動のステージとなる拠点施設(東京芸術劇場、Hareza 池袋、サンシャインシティ等)をつなぐ動線の強化
  - 池袋駅周辺地域内外のみどりを結び、まちの風格を表わす美しい街並みの形成

### 3 多彩な界隈をつなぐ歩行者回遊性の向上 戦略1・3

**課題** ● 滞留・交流空間の不足 ● 歩行者空間の不足 ● 歩行者流動(動線)の集中  
● 情報発信機能・空間の不足 ● 広幅員道路によるまちの分断

- 方向性**
- 地区内の多様な都市機能をつなぎ、相互補完する“回遊の中継点(アート・カルチャー・スポット)”を創出
  - “ハブ”や“スポット”の接続を強化し、誰もが目的に応じて容易に行き交うことができる“表情豊かな歩行者回遊空間”を創出

池袋駅周辺地域  
まちづくりの  
5つの戦略  
(まちづくりガイドライン)

- 戦略1** 文化と生活・産業が創発するまちづくり  
**戦略2** 駅からにぎわいが広がるまちづくり  
**戦略3** 界隈を歩き、楽しめるまちづくり  
**戦略4** 誰もが安全・安心に暮らし、集えるまちづくり  
**戦略5** 環境と共生し、四季の彩りに包まれたまちづくり

池袋駅周辺地域  
基盤整備の  
6つの目標

- 1 アート・カルチャーの活動を国内外に発信する多様な『都市の顔』の形成 戦略1・2
- 2 池袋駅とまちの多面的な連携を支える『東西都市軸』の形成 戦略2・3
- 3 多彩な界隈をつなぐ歩行者回遊性の向上 戦略1・3
- 4 東西駅前広場空間の役割分担を踏まえた交通結節機能の強化・再編 戦略2・3
- 5 歩行者優先の都市空間を支える交通ネットワークの整備 戦略1・2
- 6 次世代へつなぐ都市の防災機能・環境性能の向上 戦略4・5

### 4 東西駅前広場空間の役割分担を踏まえた交通結節機能の強化・再編 戦略2・3

**課題** ● 交通モード乗換え機能の分散 ● 多様なニーズへ対応するための空間不足

- 方向性**
- 環状5の1号線など広域交通ネットワーク整備や池袋駅周辺の都市開発を契機として、東西駅前広場の再編・整備を進めることにより、電車、バス、タクシーなどの多様な交通モードの連携を強化し、“分かりやすく使いやすい広域交通結節拠点”を形成

### 5 歩行者優先の都市空間を支える交通ネットワークの整備 戦略1・2

**課題** ● 歩行者空間と自動車動線・自転車動線の交錯 ● 公共交通ネットワークの連携強化  
● 変則交差点による交通容量の低下

- 方向性**
- “各交通モードの体系的な道路ネットワークの形成”による自動車・自転車流動の秩序化
  - 周辺都市開発に併せた駐車場・駐輪場の整備により駐車・駐輪施設を適正に配置
  - 歩行者の回遊行動を支援する移動サービスの拡充

### 6 次世代へつなぐ都市の防災機能・環境性能の向上 戦略4・5

**課題** ● 駅関連施設の防災対策 ● 細街路・木密等による防災性・住環境の低下  
● 地域資源を活用した都市環境の向上

- 方向性**
- 駅周辺での街区再編や都市開発、駅関連施設の更新に併せた“都市再生安全確保計画を具現化する空間・機能”の確保
  - 防災拠点の整備、木密対策の推進により防災性と住環境を向上
  - 地域エネルギーや環境資源の利活用により良好な都市環境・都市景観を形成



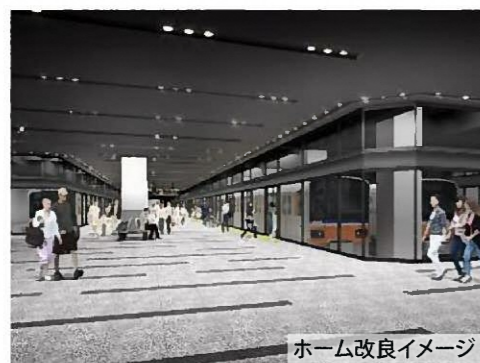
## 5. 基盤整備の方針と取組み

主要基盤ごとの整備方針と内容を示す。

### 駅関連施設〔池袋駅コア・東池袋駅コア〕

- 【整備方針】**
- 誰にとってもわかりやすく快適な駅空間の形成
  - 鉄道路線間、各種交通モード間の乗換え利便性の向上
  - 地下通路を含む駅空間の安全性、防災性の向上

- 【取組み】**
- 周辺都市開発との連携による地下通路の拡幅・整序、避難経路の確保 池袋駅 東池袋駅
  - 地下通路と地上を結ぶ、新たな接続口（サンクンガーデン等）の整備 池袋駅 東池袋駅
  - ホームの拡幅、ホームドアの設置 池袋駅
  - わかりやすい案内誘導サインの整備 池袋駅
  - バリアフリー基本構想に基づく、バリアフリー対策事業の推進 池袋駅 東池袋駅
  - 地下通路の防火対策と地上へつなげる避難経路の機能強化 池袋駅
  - 地下通路へつながる出入口での浸水防止対策の強化 池袋駅 東池袋駅



ホーム改良イメージ

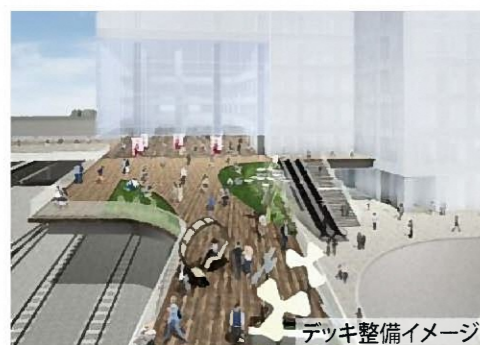


メトロポリタンプラザのサンクンガーデン

### 池袋駅東西連絡通路（北デッキ・南デッキ）〔池袋駅コア〕

- 【整備方針】**
- 東西のまちとの重層的な接続による賑わいと歩行者回遊性の向上
  - 新たな空間創出による、交流・発信機能の強化、防災性の向上
  - 地下通路の慢性的な混雑や動線輻輳の緩和

- 【取組み】**
- 〈北デッキ〉：東口駅前広場と西口駅前広場とを接続する歩行者動線（空間）整備
  - 〈南デッキ〉：メトロポリタンプラザから明治通りまで接続する歩行者動線（空間）整備
  - 北デッキ、南デッキと建物内動線の接続による、デッキレベル回遊空間の整備
  - 周辺の都市開発と連動するデッキネットワークの整備
  - 退避経路や一時退避場所として、安全に通行・滞留できる空間の確保
  - 駅機能更新や周囲の施設更新との連携による一体的、効率的な整備計画



デッキ整備イメージ

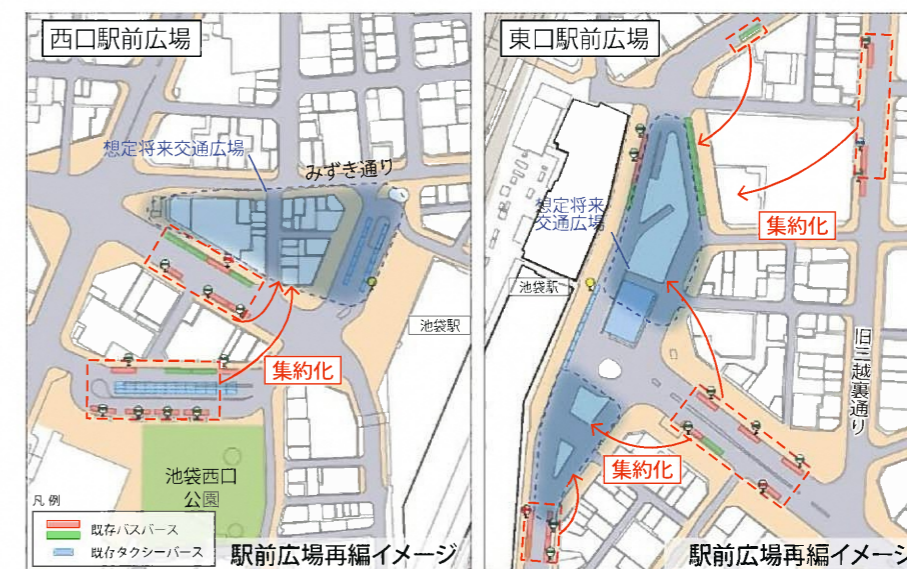


デッキ整備イメージ

### 池袋駅東西駅前広場〔池袋駅コア〕

- 【整備方針】**
- 東京北西部の玄関口、池袋にふさわしい象徴的な「都市の顔」の形成
  - 多様な交通モードに対応する交通結節機能の強化
  - 災害時にも機能する、安全で快適な歩行者空間の拡大

- 【取組み】**
- 駅前広場と周辺施設で一体的に象徴的な都市空間を形成し、シンボリックな都市景観を演出
  - 東西デッキ・地上・地下を結ぶ、駅まち結節空間の整備（東西都市軸との接続、サンクンガーデン整備等）
  - 建物低層部には賑わい施設を配置し、周辺街区や街路との空間的なつながりを創出
  - 路線バス、タクシー、LRT等の交通機能の集約配置
  - 高速バス、観光バス等の交通ニーズへの対応
  - 駅コアを起点とする新たな交通システム（LRT、電気バス等）の導入
  - 周辺の街区再編や都市開発に併せた、関係者の連携による歩行者空間の拡大整備
  - 〈東口〉：明治通りの車線減少（4車線→2車線）、南北ロータリー化による歩行者空間の拡大整備
  - 〈東口〉：グリーン大通り（駅前～東口五差路交差点）の広場化
  - 〈西口〉：地下通路、北デッキから交通広場や周辺街区へのシームレスな歩行者動線整備
  - 〈西口〉：アゼリア通り（駅前～西口五差路交差点）の広場化
  - 退避経路や一時退避場所として、安全に通行・滞留できる空間の確保
  - 災害時の情報拠点として、情報提供機能を整備
  - 交番等の防犯拠点を計画的に整備



グリーン大通り広場化イメージ



明治通り歩道拡幅イメージ



## 公園・環境施設

- 【整備方針】**
- ・まちや公園の特徴を生かした、アート・カルチャーの活動拠点の育成
  - ・みどりのネットワーク形成による潤いのある豊かな都市空間の形成
  - ・地域冷暖房施設の拡大や未利用エネルギーの利用促進による都市の高効率化
- 【取組み】**
- ・4つの都市計画公園（池袋西口公園、中池袋公園、南池袋公園、造幣局地区防災公園）の特徴を生かし、周囲の民間施設との連携による“アート・カルチャー・ハブ”の育成とマネジメント
  - ・4つの都市計画公園の連携と適切な維持管理
  - ・東西都市軸（みどりの骨格軸）を中心とした周辺道路や広場、民間敷地・建築物等における緑化空間の拡大
  - ・都市開発にあわせた地域冷暖房施設の区域拡大、清掃工場の排熱利用など未利用エネルギーの活用



南池袋公園



造幣局地区防災公園イメージ

## 歩行者回遊ネットワーク

- 【整備方針】**
- ・まちの東西をつなぎ回遊の起点となる東西都市軸（みどりの骨格軸）の形成
  - ・エリアや沿道の特徴をいかした快適な歩行者回遊空間の拡充
  - ・“駅コア”や“アート・カルチャー・ハブ”の賑わいを広げるネットワークの形成
  - ・アート・カルチャー・ハブの機能を補完する多様な中継点の創出
- 【取組み】**
- ・アート・カルチャー活動の拠点となる、東京芸術劇場や Hareza 池袋、サンシャインシティ等の施設や“アート・カルチャー・ハブ”をつなぐ歩行者動線、誘導機能の強化
  - ・辻空間（交差点等）や公民のオープンスペースを生かした、“アート・カルチャー・スポット”の整備
  - ・“アート・カルチャー・スポット”を結ぶ多様な歩行者回遊空間を創出
  - ・人々の回遊行動を支援する、新たな交通システム（LRT、電気バス等）の導入
  - ・見通しのある街路や施設では、視点場（都市景観を楽しむポイント）を確保



グリーン大通りのイメージ



南北区道のイメージ

## 道路ネットワーク・駐車場

- 【整備方針】**
- ・体系的な道路ネットワークの形成等による自動車流動の整序化
  - ・誰もが利用しやすく、移動しやすい交通環境の実現
- 【取組み】**
- ・環状5の1号線の整備を契機とした通過経路の見直しや、池袋駅コア・ゾーン周辺部（縁辺部）でのフリッジ(集約)駐車場の整備等により、池袋駅コア・ゾーンへの自動車の進入を最小限に抑制
  - ・西口五差路や東口五差路の変則交差点の改良整備
  - ・都市開発と連携した整備により、域内駐車場、フリッジ(集約)駐車場、共同荷さばき駐車場を適正配置
  - ・交通モードの切替え機能を有する“アート・カルチャー・ハブ”や“アート・カルチャー・スポット”の整備
  - ・駐車場のネットワーク化、荷さばき等のルール化などの地域ルールの策定

### 〈将来の広域自動車ネットワーク〉



## 自転車ネットワーク・駐輪場

- 【整備方針】**
- ・周辺地域からコアエリアへの自転車アクセス性の向上
  - ・歩行者回遊空間に配慮した安全で快適な自転車ネットワークの形成
- 【取組み】**
- ・自転車ネットワーク及び利用環境に応じた自転車走行空間の整備
  - ・東西連絡通路（北デッキ・南デッキ）整備に併せ、WE ロードを活用した東西横断動線の強化
  - ・自転車駐輪場やシェアサイクル機能を有する“アート・カルチャー・ハブ”や“アート・カルチャー・スポット”の整備
  - ・周辺都市開発と連携した自転車駐輪場の整備

### 〈将来の広域自転車ネットワーク〉

